

千里考今物語

2026

8/23 (日) 10:00-12:00

会場：豊中市上新田会館

ゲスト講師：安芸 早穂子（アーティスト）

葉っぱでつくる
きつね・たぬき
現れ、消える。
影絵遊び

100年前の千里大パノラマ絵図



葉っぱでつくる きつね・たぬき 現れ、消える。影絵遊び

2026年8月23日（日）10:00-12:00 会場：豊中市 上新田会館（豊中市上新田1-17-6）

この千里の丘にもきつねやたぬきたちが住んでいます。昔は人間のつきあい方も違っていたのかな？
絵図にもある上新田の天神社周辺で見つけた葉っぱや小枝などで、生き物のカタチをつくります。
それらを影絵にして、大パノラマ絵図で遊んでみよう！

- 対象** | こども＊（おとながつきそってください。未就学児もOKです）
定員 | 先着15名
ゲスト講師 | 安芸早穂子（アーティスト）
参加費 | 一家族1000円、子ども2人目から500円（材料費として）
持ち物 | 汚れてもよい服・熱中症予防装備
・身近な動物図鑑などあれば



千里大パノラマ絵図

タイムスケジュール

- ① 10:00 受付 里山のいきものと人間の話
- ② 10:10 大パノラマ絵図の説明と、明治時代の農家からのききとり話を聞く
- ③ 10:20 葉っぱや小枝で千里の丘に住んでいる生き物をつくろう
（材料の植物は準備していますが、自分で探して持参してもOK!）
- ④ 11:20 参加者で影絵をしながら遊び・お話を作ります
- ⑤ 12:00 解散（制作したものはお持ち帰りいただけます）



〔申込・お問い合わせ〕

こちらのQRコードから！

（受付・千里パブリックデザイン）

<https://forms.gle/a1psMmCW4CoYAihP6>



*いただいた個人情報は本ワークショップのみに使用し、他の使用目的、第三者への譲渡・閲覧等には使用しません。

ゲスト講師

安芸早穂子（アーティスト）

千里在住のアーティスト。

専門は、古代の暮らしを考古学者と共に復元して教科書や博物館のイメージ画に描くことですが、過去から現在までの人の営みと自然環境の関係を、子どもたちに伝えることが一番したいことです。

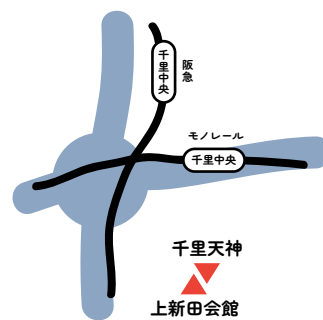
アーティストと考古学者が協働で生み出す縄文遺跡の体験イベントを各地でプロデュース。幼児、小学生アートクラブ主催。京都市立芸術大学日本画卒。

案内人

辰巳雄基（もぐら調査団）

千里考今物語 もぐら調査団 代表

リサーチや蒐集を通じ、土地に眠る魅力や人の中にある想像力を発見し、風景を再編集し発信している。



■会場アクセス

◎電車でお越しの方

北大阪急行(地下鉄御堂筋線)千里中央駅

大阪モノレール 千里中央駅から南へ徒歩15分程度

◎車でお越しの方

「千里天神」上新田天神社が目印

千里天神さんの横に会館があります。

近くのコインパーキングに駐車してください。

■(一財)千里パブリックデザインとは？

<https://senri-pdf.org/>

日本初の大規模ニュータウン・千里が紡いできた貴重な文化的資産、ソフトを再発見・継承し、未来のまちづくり に生かすため活動する市民財団です。